

VMware Horizon Workspace

概要

VMware® Horizon Workspace™ により、ユーザーは任意のデバイスからアプリケーションとファイルに容易にアクセスでき、IT 部門はこれらの資産を中央から提供、管理、保護することが可能になります。その結果、エンドユーザーに真のモビリティが提供されることで、時間や場所を問わず必要なすべての資産にアクセスし、生産的に働くことができます。IT 部門は、さまざまなデバイスにわたる企業データの管理性を高めることが可能です。

モバイルワークスタイルの導入

最近まで、従業員は1台のデスクトップまたはラップトップを使用して、すべての業務を行っていました。このような予測可能で管理しやすいPC中心のITモデルには限界があります。今日のIT環境では、デバイス、オペレーティングシステム、アプリケーションが多様化しています。従業員は当然、IT部門が使いやすいモバイル対応サービスを提供し、生産性が向上することを期待します。今日の組織は、このような新しいモバイルワークスタイルに対応し、これを保護するための戦略を策定する必要があります。

Horizon Workspace の仕組み

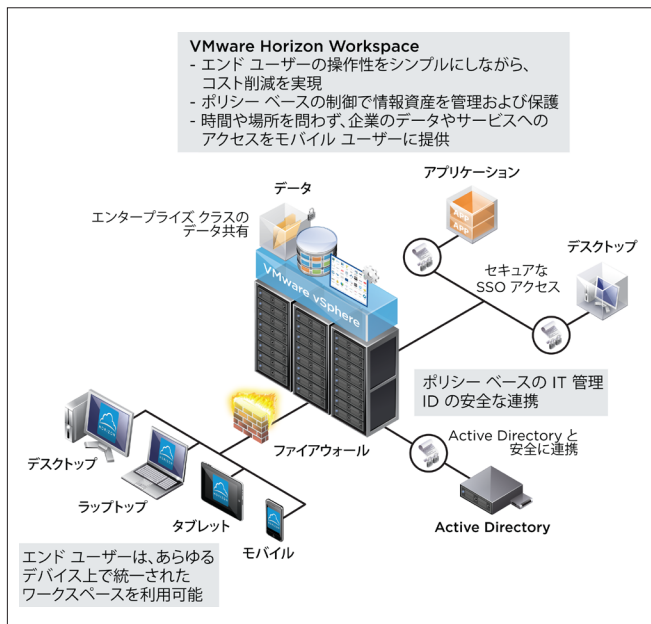
Horizon Workspace はデバイスの種類を問わず、単一ワークスペースからすべてのビジネスアプリケーションとファイルに、ユーザーが容易にアクセスできるようにします。さらにIT部門には、拡張性の高いポリシーベースの管理プラットフォームが提供されるため、デバイスの種類を問わずこれらの資産を中央から管理および保護することができます。

アプリケーション、ファイル、およびデスクトップにアクセスするための単一のワークスペース

今日の従業員はデバイスやクラウドサービスを複数使用しているため、データが複数の場所に分散しています。Horizon Workspace は、すべてのファイルやアプリケーションを含む企業ワークスペースを作成することで、ユーザーがさまざまな情報を容易に利用できるようにします。ユーザーは任意のデバイスを使用して企業ワークスペースにアクセスし、そのデバイスに適したアプリケーションとコンテンツを利用できます。この提供メカニズムにより、ユーザーはデバイスの種類を問わず、モバイル環境で最大の生産性を確保できます。

プライベート用とビジネス用のデータを分離

モバイルデバイスを使用するユーザーは、個人用途と業務用途を随時切り替えながら作業します。そのため、個人用と業務用のアプリケーションやデータが同じデバイス上に混在することになります。Horizon Workspace では、企業の資産用のコンテナを個別に作成することで、データの漏えいを防止します。同じデバイスに格納されている個人情報などのプライバシーが侵害されることはありません。IT部門は業務用のデータのみを管理するため、個人が所有するデバイスのセキュリティとコンプライアンスは維持されます。



VMware Horizon Workspace は、デバイスの種類を問わず単一ワークスペースから、すべてのビジネスアプリケーションとファイルにユーザーが容易にアクセスできるようにします。

デバイスではなくユーザーを管理

IT 部門は、さまざまな種類のアプリケーション、デバイス、オペレーティング システムを保護およびサポートする必要があります。Horizon Workspace により、IT 部門はユーザー中心の管理プラットフォームを実現できます。このプラットフォームでは、すべてのアプリケーションおよびデータ サービスが中央でカタログ化され、ID およびニーズに基づいてユーザーに提供されます。組み込みのポリシー エンジンにより、IT 部門は迅速かつ容易に、任意のデバイスに対してアプリケーションの提供、配布、および更新をすることができます。同時に、適切なセキュリティ設定と制限が、ユーザーレベルおよびデバイス レベルで確実に適用されます。この手法では、非効率的な個々のデバイスの管理作業を排除し、ユーザーとユーザー権限を中心に管理する、拡張性の高いプラットフォームを実現します。Horizon Workspace では、インフラストラクチャを追加することなく、新しいアプリケーション、デバイス、およびオペレーティング システムを適用できるため、将来の変化にも対応できます。

企業データの保護

今日の新しいモバイル ワーク環境において、企業データの保護はこれまでよりも困難な作業となりつつあります。デバイスの紛失だけでなく、モバイル アプリケーションや SaaS（サービスとしてのソフトウェア）アプリケーションからデータが漏えいする可能性もあります。Horizon Workspace は、モバイル デバイス上の企業資産を完全に分離して格納することで、高度な保護およびセキュリティを実現します。Horizon Workspace は企業ワークスペース内で、ユーザー アクティビティのほぼすべてのログを収集し、監査とコンプライアンス用の法的な情報を提供します。このとき、プライベート ワークスペースのログが収集されることはありません。

シームレスなファイル共有

今日、社外で活動するユーザーは従業員同士、またはパートナーやお客様と、ファイアウォールの外側でファイルを共有する必要があります。そのため、安全性に欠けるコンシューマ向けのファイル共有サービスが使われることがありました。Horizon Workspace は従業員に統合化されたファイルの格納場所を提供することで、どのデバイスからでも同じファイルにアクセスし、社内外のユーザーが容易にファイルを共有できるようにします。IT 部門は、共有に関する権限の定義、セキュリティ ポリシーの設定、リモートからのデータの削除が可能になります。Horizon Workspace では、企業データを IT 部門の管理下に置いたまま、従業員がコラボレーションを実現し、生産性を維持できるようになります。

主な機能

場所を問わずファイルやアプリケーションにアクセス

- Windows、Mac、iPhone、iPad、Android デバイス、タブレット、および一般的に使用されている任意のブラウザから共有コンテンツにアクセスできます。
- 単一のワークスペースから、SaaS アプリケーション、モバイル アプリケーション、ThinApp のほか、XenApp（現在技術レビュー中）にもアクセス可能です。各ユーザーは同じユーザー名とパスワードで、権限があるすべての企業資産にアクセスできるようになります。
- デスクトップ（Windows および Mac）とすべてのデバイス間でアクティビティを同期し、時間や場所を問わず企業のファイルにアクセスすることができます。

安全なコラボレーション

- 組織の外部（顧客、パートナー、クライアント、契約社員、在宅勤務者）および内部とファイルを共有できます。
- 内部と外部のユーザーを招待し、コンテンツの追加、編集、または共有など、特定の権限を付与できます。
- 完全なバージョン管理機能を使用して、以前のバージョンのファイルを参照し、ドキュメントへ直接コメントするほか、履歴からファイルをリストアすることもできます。



セキュアなモバイルワークスペースの提供 *

- 独自のオペレーティング システム、アプリケーション、およびポリシーを備える仮想コンテナを使用して、Android デバイス上のビジネスワークスペースを分離および保護します。IT 部門は、企業ワークスペースのライフサイクル全体をリモートで管理します。これには、タイムアウト / リース、監査用のログの記録、ワークスペース内のすべてのアプリケーションのリモート ワイプなど、セキュリティ設定の決定が含まれます。Dual-Persona ソリューションにより、アプリケーションとデータを業務用とプライベート用に分離します。
- E メール、カレンダー、連絡先、タスク管理、Web の閲覧、およびファイル管理などにすぐに使えるアプリケーションを提供します。
- Evernote や LinkedIn などのサードパーティ製ビジネス アプリケーションを Android デバイスにインストールすることも可能です。

モバイルデバイス上での企業資産の保護 *

- 設定なしで利用可能な専用の VPN 機能 (Cisco 社、Juniper 社、または F5 社のソリューション) を企業ワークスペースにのみ適用し、Android デバイスの接続を保護します。
- Web ベースのコンソールから、グループ ベースのセキュリティポリシーの作成、デバイス インベントリの監視、およびデバイスの診断情報の取得をすべて実行できます。
- 完全な暗号化、リモートからのロックとワイプ、ジェイルブレイクとルートキットの検出、およびパスワード適用の機能を提供します。
- データ流出の抑制ポリシーを設定し、コピー アンド ペーストや、外部の共有サイトのドキュメントを開くことによるデータの漏えいを防ぎます。

* これらの機能は VMware Ready 端末にのみ対応しています。詳細については、VMware の認定パートナーまたは VMware 営業担当にお問い合わせください。

アプリケーションの統合管理

- 従業員のデバイスに対し、アプリケーションとエンタープライズ サービスのプロビジョニング、提供、およびアップデートを行う場合、専用のワークスペースを使用して迅速かつ容易に実行できます。
- 物理アプリケーション、Web アプリケーション、および外部ストア内のアプリケーションを、アプリケーション カタログで分類、公開、バージョン管理、および提供することが可能です。
- アプリケーションの使用権限を管理できます。
- アプリケーションを従業員に提供する前にアプリケーション設定を事前構成します。

ポリシー ベースの運用管理

- さまざまなシステムのデータ、アプリケーション、およびデバイスに対応する単一のポリシー エンジンを使用して、管理性と安全性を確立します。
- ポリシーを動的に更新します。
- ポリシーの適用をオフラインで実行します。
- ポリシー シナリオを視覚化し、ポリシー エンジンを使用して競合するポリシーを合理化します。

コンプライアンス要件への準拠

- 100 を超える監査可能なイベントを構成して、割り当ての使用量、ドキュメントへのアクセス、外部からのログイン、およびアプリケーションの使用など、数百種類のレポートを生成できます。
- ユーザー、グループ、またはグローバル ベースのポリシーに基づいて、監査用にイベントのログを作成し、ドキュメントを保持します。

詳細情報

詳細については、次の Horizon Workspace の Web ページを参照してください。

http://www.vmware.com/jp/products/desktop_virtualization/horizon-workspace/overview.html

VMware Horizon Workspace の購入方法

VMware 製品の購入方法については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品仕様およびシステム要件の詳細については、Horizon Workspace のインストールと構成ガイドを参照してください。

